

## ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品は、最近テレビのコマーシャルでよく放映されていますし、実際に薬局で「この薬剤には、ジェネリック医薬品がありますが、それに変わりますか？」と言われてみえると思います。

そのため、すでにジェネリック医薬品を服用されている方も多いと思います。

ジェネリック医薬品とは、公に製造が認められたコピー商品のことで、製薬会社が開発した薬剤が一定期間を過ぎると、特許が切れるために、その薬剤のコピー製品を作ることができます。

米国では以前からジェネリック医薬品は非常によく処方されており、このとき薬の商品名ではなく、一般名 (generic name) で処方されるため、ジェネリック医薬品といわれるようになったそうです。

私たちはオリジナルの薬剤を先発品、ジェネリック薬を後発品と呼んだりします。

日本でも、ジェネリック医薬品普及のために、この4月から後発品がある薬剤に関しては、一般名処方をするようになりました。

先発品の60%の価格なので、患者さんにとっても、医療費節約のため、国にとってもメリットがあります。

基本的には同じ薬剤なのですが、



- ① 薬のコATING剤や添加物は各社違うので、先発品とアレルギーに差が出ることもある。
  - ② 製造特許が切れていない場合には製造法が各社異なり、品質に差が無いとはいえない。
  - ③ 会社のネームバリューが先発品メーカーに劣る。
- (しかし、最近はメーカーの名前を広く認知してもらうために大手のジェネリック会社は宣伝に力を入れています)

当院は「ジェネリック医薬品がある場合は、患者さんが希望されれば、先発品から自由に変更していただいでよろしいです」という処方せん内容にしております。

あくまで患者さんの自由意思ですので、先発品を希望される方は遠慮なくその旨を薬局に教えてください。

## 腰部脊柱管狭窄症

### ? どんな病気?

背骨(脊椎)の中には脊髄と呼ばれる脳から出た神経のかたまりが通っていて、これが枝分かれして手や足に行き、運動や感覚をつかさどっています。

この脊髄が通っている脊椎の管を脊柱管といいます。この脊柱管が脊椎の変形やすべり症といわれるような病気で狭くなると、中を通っている脊髄を圧迫して、さまざまな症状をきたします。首で起これば頸部脊柱管狭窄症、腰でおこれば腰部脊柱管狭窄症と言われます。

### ? 症状は?

腰部脊柱管狭窄症の代表的な症状は、間欠性跛行(かんけつせいはこう)です。これは一定の距離以上を歩くと、ふくらはぎの辺りがしびれ痛くて歩けなくなります。しばらく休憩するとまた歩けるようになるので、間欠性跛行といわれます。

その他の症状は坐骨神経痛、下肢のしびれや足の裏に何か張り付いたような感じがしたり、足の冷え、こむら返りも起こりやすくなります。しびれや痛みは背骨を反らすと強くなり、前かがみになると楽になるのも特徴です。

診断は脊椎のMRI撮影で可能です。

### ? 治療は?

薬物療法では、プロスタグランジンE1(プロレナール®)がまず使われます。これでしびれや痛みがおさまらない場合に私は表紙で紹介した漢方薬の牛車腎気丸を併用することが多いです。

また、鎮痛剤、ビタミンB12、ノイロトピン®の点滴、ブロック注射なども症状に合わせて併用することもあります。

最近、当院では年に1名くらい手術を受けられていますが、疼痛がひどい場合は適応となります。

ここ数年、非常に脊柱管狭窄症の患者さんが増えております。上記のような症状がございましたら一度MRIの撮影をおすすめします。(もちろん紹介いたします)

また、症状が強い場合や他院で治療を受けているが、セカンドオピニオンをさがしているなど、脊柱の専門医の診察を希望される場合にも紹介させていただきますので、遠慮なくおっしゃってください。